

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	美術

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○ 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を身につける。 ○ 対象を深く見つめる力、感性や想像力をいっそう深め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。 ○ 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、良さや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教材	教科書：『美術2・3上 学びの深まり』『美術2・3下 美の探求』（日本文教出版） 美術資料 三重県（秀学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとする。	・授業態度や発言 ・準備物や道具の取り扱い、片付け ・定期テスト
② 発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	・アイデアスケッチ ・制作過程 ・途中作品 ・完成作品 ・定期テスト
③ 創造的な技能	感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表している。	・制作過程の中での材料や用具の使用の様子 ・完成作品 ・定期テスト
④ 鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。	・制作中の自己評価表 ・授業中の発言、発表 ・作品の感想 ・鑑賞プリント ・定期テスト

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2 学年 1 学期	情報をわかりやすく伝えよう 学びを深めよう	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②対象を深く見つめ、感じとったことを簡略化するなどして、自分なりに豊かに発想し構成できる。 ③材料や用具、表現方法の基礎的技能を身に付け創造的に表現ができる。 ④作者の心情や作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。
2 学年 2 学期	水墨画の技法 墨が生み出す豊かな世界	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②対象を深く見つめ、感じとったことを自分なりに豊かに発想し構成できる。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、作者の心情や作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。 ④歴史的背景や作者の心情、作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。
2 学年 3 学期	響き合う言葉と絵	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②対象を深く見つめ、感じとったことを自分なりに豊かに発想し構成できる。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④作者の心情や作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・チャイムが鳴るまでに美術室に移動し、授業に必要な準備物を用意しておく。 ・授業中は先生の話をよく聞き、集中して取り組む。 ・教えられた技術を生かして自分の思い、考えを表現する。 ・集中して根気よく制作に取り組む。 ・作品、プリントなど提出期限は守る。
	家庭	・日常から身近なものや美術作品に興味をもちふれる機会をつくる。 ・身近なものの中にある美術的な部分や美術作品に興味をもち自分の作品に生かす。 ・授業中に学んだことを確認しておく。